

平成28年度 学校評価書 【定時制】
 (自己評価・学校関係者評価)

		自己評価の評価基準 A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった		学校関係者評価の評価基準 A:とても良く評価できる B:概ね評価できる C:やや評価できない D:まったく評価できない		
番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者の意見・要望
1	教育方針 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ◆本校の掲げる教育目標の具現化に向けて、教員が協働的に取り組むことができた。 ◆学校新聞を7回発行、HPを9回更新するなど、情報発信に努めた。多くの保護者・家族から行事に参加していただいた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後も定時制の特色を活かし、生徒一人ひとりを大切にしたい教育活動を展開する。 ◆情報発信を積極的に行い、保護者・家族や地域の方々が行事に参加しやすいよう工夫して、開かれた学校づくりを進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆アットホームでありながらしっかり学べたと思う。 ◆見やすいHPの作成など積極的な情報発信が、理解・信頼を生んでいると感じる。 ◆地域の中で定時制生徒の動きが見える化していると感じる。今年度同様情報発信して欲しい。
2	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒の多様な学力に対応した学習指導について、授業内容や授業進度でさらに工夫が必要である。 ◆今年度より長期休業前に基礎学力講座を行い、基礎・基本の定着と年次を超えた協働学習の機会を設けた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後とも、基礎基本の定着と学ぶ楽しさを実感できる授業を目標にして、生徒の理解を確認しながら授業を展開する。 ◆授業の中で生徒理解に基づく個別の支援を行い、学習に対する前向きな気持ちを持続できるよう指導する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導について、様々な工夫をされている。 ◆生徒アンケート結果から学ぶ楽しさを実感していると思われるが、自主的に学習しようという意欲が低い(自信が持てない)ので、個別指導をしっかり行い、改善点2項目目を頑張ってください。
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆「進路の時間」「社会体験学習」における講話やワークショップ、「職場見学」などで進路意識を高め、社会や職場での対応力を育成する指導を行った。 ◆就業する生徒が例年より少なく、定時制の特色である就業と学業の両立によって人間力を高める指導が十分にできていない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会で自立できる力をつけさせるための進路学習やキャリア教育を引き続き推進する。未就業の生徒に対して就業と学業の両立を奨励し、支えていく。 ◆支援を要する生徒の就職指導について研究を進め、職員間で情報共有する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆アルバイトの中で、社会のしくみ、人間関係の築き方を体験し学べたと思う。進路について、ハローワークの方々を含め熱心に接してくれた。 ◆多様化する進路志望に対応しながら指導している。 ◆就業にあまり拘らなくても良いのではないかと。中学時代の失敗を引きずることのない柔軟な活動を学業と組み合わせ実施して欲しい。
4	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆落ち着いた学校生活を過ごすことができた。いじめ防止についても全職員で情報を共有し、組織的に取り組むことができた。 ◆社会性やコミュニケーション力に課題のある生徒の指導について、生徒理解を踏まえた組織的な取組を進めていく必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校生活の中での様々な場面で、実体験を通して社会性やコミュニケーション力を高める機会を設け、個別の声かけによって指導の実を上げる。 ◆交通安全、薬物防止、情報モラルの指導を、外部講師を活用しながら継続して行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆先生方の早い対応が安心できた。できればもう少し生徒と先生方のコミュニケーションを高められればいいかなと思う。 ◆生徒数が少ない事を利点として、よりきめ細かい指導が出来ていると感じる。 ◆生徒・保護者が教員・学校に信頼を寄せている姿が読み取れる。
5	特別活動 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ◆諸行事、生徒会活動、ホフンアイン活動等において一人ひとりに役割を与え、他と協働する場面をつくることにより、主体的に参加する意識を持たせることができた。 ◆担任を中心に個人面談を設定し、生徒の相談に応じることができた。また、スクールカウンセラーも有効に活用できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒数が少ない状況であるが、諸行事や生徒会活動、ボランティア活動などで自主的に活動できるよう指導・助言をしていく。 ◆今後も、一人ひとりに目が行き届く状況を活かして、適時の相談活動を行っていく。スクールカウンセラーとの連携も推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティア活動や行事を通して、他との接し方や思いやりを学ぶことができた。人間関係を築くための良い活動だと思う。 ◆自主的・自発的な活動が生きていく活力になる。生徒の積極的な参加活動は、寄り添った指導のおかげだと思う。 ◆卓球・たこ焼きボランティアなどの部活動がずいぶんメディア等を通して地域にアピールした。
6	保健安全 給食	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全で楽しい給食を提供でき、生徒にとって満足できるものとなっている。給食を通して食育を推進し、食に対する関心を高めた。 ◆当番制による職員室清掃は協力して行うことができた。教室の環境美化についても、主体的に関わる意識を持たせたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後も給食を通して食育を推進し、食と健康の関係、地産地消について情報提供したり、生徒の交流の場として充実させる。 ◆授業終了時刻の関係で一斉清掃の設定は難しいが、教室や私物の整理など環境美化の意識を育てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆これからも給食を楽しく食べられる雰囲気づくりをしっかり行って欲しい。 ◆給食を通して食への関心を高めていく事を期待する。 ◆清掃・環境美化において教員・生徒間で意識に差がある。授業開始前に自主的に行う設定はどうだろうか。